

機械工作技術研究会および同連絡協議会への参加報告

工作部門 機械加工技術班 林 祐太

1.はじめに（目的等）

本研究会は大学等で機械工作を業務とする技術職員を対象とした研修であり、職務に必要な実践的技術の向上および技術情報を共有することにより機械・工作分野における見識を育むことを目的として参加した。また、2024年度に本研究会を広島大学で開催するため、開催準備のための情報収集を行う。

2.期間・場所

期間：2023年9月14日～2023年9月15日（2日間）

場所：静岡大学 浜松キャンパス（静岡県 浜松市）

3.参加者等

51名（協議会10名）

4.研修内容

1. 連絡協議会（開催状況・次回の準備状況・以降の開催校などを協議）
2. グループワーク（ダンドリ会議：課題図面に対して加工段取の討議および発表）
3. 口頭発表
4. ポスター発表
5. 施設見学：スタッフによる学生実習の内容や各種工作機械の説明
6. 工作機械分科会：説明員・参加者による実際の加工現場での意見交換

5.まとめと感想

連絡協議会では今年度の開催準備についてスタッフの役割分担や準備時期等の説明があり、本校での開催に関して情報を得ることができた。

研究会では、発表や演習中も意見交換が活発に行われており、他機関で実際に製作した（今後する）図面を用いた加工ダンドリの話し合いでは、自分では想像しなかった方法で加工する方法や日常の業務では振り返らない部分も改善につながるダンドリがあることを認識し、同じ分野の技術職員が集まっているからこそできる実務に役立つ内容になっていた。個人的には加工技術ではないが依頼の受付や施設利用者への対応のデジタル化に取り組んでいる大学との情報共有ができたことも非常に有意義な点であり、現在作成・運用しているシステムの見直しにもつながるものであったと思う。

本校での開催時にもこのような有意義な研究会にできるよう準備を進めていきたい。